

保育カレンダー

だより

No.41 2023年5月

発行：保育カレンダー編集委員会

愛知県豊川市市田町原山97、98番地

恵の実保育園内

TEL 0533-65-9803 FAX 0533-84-9777

Eメール：hoikuen.enomi@gmail.com



すべての子どもが幸せに 仲間と笑顔で子ども時代をすごせるように

私たちは絵を通して子どもが「育つ」ことを、この保育カレンダーで発信し続けています。

年々激しく変化する地球環境や次々と現れる新しいウイルス、そして21世紀を迎えてもなお繰り返される戦争。今、世界全体に不安が押し寄せています。けれども私たちには人類が生み出してきた、平和や子どもの幸せを実現するための叡智(日本国憲法、児童憲章、子どもの権利条約)があります。先を生きる大人としての責任をどう果たすかが問われているのではないのでしょうか？

私たちは、日々の保育実践の中で「子どもは一人の人間として尊ばれる」ことを何より大切にしています。保育カレンダーには、大人たちが集い学びながら知恵を出し合い、今できる子どもにとっての最善を創り出す。そんな各地の奮闘が集められています。

かけがえのない子ども時代を子どもらしく生きている姿を知って頂き、保育カレンダーの普及にご協力よろしく願います。



「絵」にみつめられるということ 「保育カレンダー」いいね!!

窪島 誠一郎

戦没画学生慰霊美術館「無言館」館主・作家

「子どもの絵」をみつめることは、
私たちが「子どもの絵」にみつめられるということ。

ほら、耳をすますと、
幼い子たちの絵からは、私たちにむかって
「戦争はイヤ」
「世界中の友達と仲良くしたい」
「家族が大好き」
「お父さんお母さんありがとう」
という声がきこえてきます。
大人の私たちは、そんな子どもたちの声に答えなければなりません。

「だいじょうぶだよ」
「みんなが幸せに暮らせる平和な世の中をつくってみせるからね」
「もうこれ以上自然をこわさないからね」
「私たちこそ、みんなにありがとうって言いたいんだよ」

こんど手にした「保育カレンダー」は、
そんな大人と子どもとのステキな十二ヵ月の日記帖。
ことによると、「保育カレンダー」によって「保育」されるのは、
子どもたちだけでなく大人の私たちのほうかもしれないね。

どうか、この「保育カレンダー」をあいだにして、
もっともっと大人と子どもたちの会話がはずむ毎日でありますように。

各地域の保育カレンダーお問い合わせ先

地域	園名	住所	TEL
東北	是川保育園	青森県八戸市是川2-15	0178-96-4082
	さくらんぼ保育園	福島県いわき市鹿島町下蔵持字沢目20-1	0246-58-5616
茨城	そとの保育園	茨城県石岡市東大橋1639-2	0299-26-3508
	はなのわ保育園	茨城県ひたちなか市西光地1丁目6-3	029-273-0493
編集委員長 東海	恵の実保育園	愛知県豊川市市田町原山97、98	0533-65-9803
	たけのこ保育園	静岡県島田市阿知ヶ谷277	0547-35-0066
関西	くるみ共同保育園	大阪府羽曳野市壺井508-1	072-957-3282
	認定こども園 鷹巣ひかり	福井県福井市西二ツ屋町第9号8番	0776-86-1066
	たんぼぼ保育園	広島県福山市日吉台2丁目11-15	084-943-1052
島根	こぐま保育園	島根県出雲市大社町入南1307-5	0853-53-1123
	あゆみ保育園	島根県安来市穂日島町426-1	0854-23-1557
九州	あゆみの森 共同保育園	福岡県北九州市八幡西区鳴水町5-22	093-645-3264
	女の都こども園	長崎県長崎市女の都3-2-4	095-847-5727
	ひいらぎ保育園	福岡県久留米市上津町2143-1	0942-51-0800
事務局	女の都こども園	長崎県長崎市女の都3-2-4	095-847-5727

profile

1941年、東京生まれ。

作家、芸術評論家、美術館館主。父親は、小説家の水上勉氏。

深夜喫茶のボーイ、印刷工をしながらお金を貯め、21歳の時に靴の修理業を営んでいた育ての両親の店でスナックを始めた。支店も出し、画廊を経営する傍ら、本店を小ホールと喫茶店に変え、1964年に東京世田谷に小劇場の草分け「キッド・アイラック・アート・ホール」を設立。1979年に長野県上田市に夭折画家の素描を展示する「信濃デッサン館」(現・KAITAEPITAPH残照館)を設立。1997年に、隣接地に戦没画学生慰霊美術館「無言館」を設立。野見山暁治氏とともに菊池寛賞受賞。著書に、『父への手紙』、『「明大前」物語』(筑摩書房)、1998年『「無言館」ものがたり』(講談社)で第46回サンケイ児童出版文化賞受賞。『鼎と槐多』(信濃毎日新聞社)で第14回地方出版文化功労賞受賞。『約束』(アリス館)、『「無言館」の庭から』、『続「無言館」の庭から』(かもがわ出版)、『流木記』(白水社)他多数。第7回信毎賞、平和活動への貢献に与えられる第1回「澄和」(とわ)フューチャリスト賞受賞。